

かしま 議会だより



第90号

平成29年9月議会号

平成29年11月発行

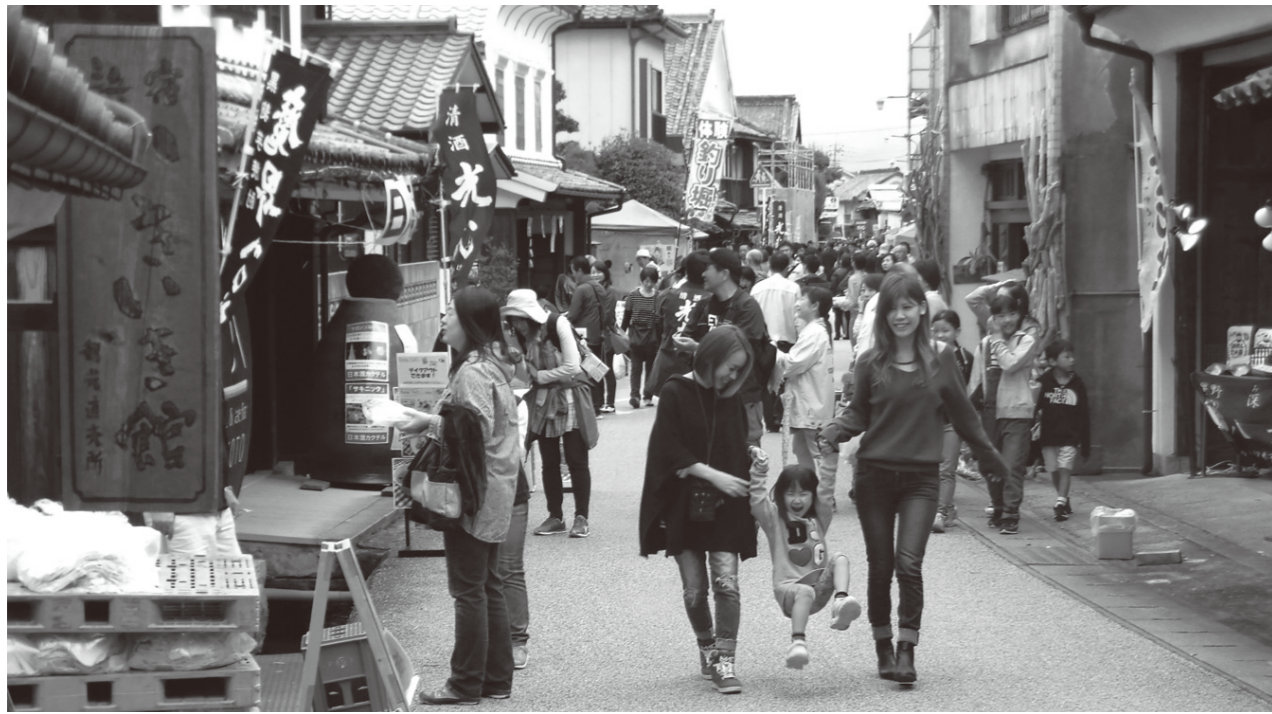
発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



能古見ふれあい大運動会

9月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
一般質問	P6～P9
決算審査特別委員会	P10
反対討論・賛成討論	P11
議会報告会	P12～P13
議員提案条例	P14
今後の定例会の予定	P15
議会あれこれ・編集後記	P16





次のことを審議し決定しました

【9月定例会】

議案番号	議案内容	杉原元博	片淵清次郎	樋口作二	中村和典	松田義太	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	角田一美	伊東茂	松本末治	徳村博紀	福井正	松尾征子	光武学	松尾勝利	採決結果	
議案第35号	平成28年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数 認定
議案第36号	平成28年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第37号	平成28年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第38号	平成28年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第39号	平成28年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第40号	平成28年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第41号	平成28年度鹿島市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	同上	賛成多数 認定
議案第42号	鹿島市小学校・中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第43号	鹿島市営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第44号	鹿島市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第45号	平成29年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第46号	平成29年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第47号	平成29年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第48号	鹿島市中村住宅整備事業の事業契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第49号	平成29年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決
議案第50号	鹿島市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 同意
議員提案第1号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上	賛成全員 可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)

- 平成29年 鹿島市議会
9月定例会会期日程
- 1、会期
自 平成29年9月8日
至 平成29年10月6日
- 2、日程
- 【9月】
- 8日 開会
会議録署名議員の指名
会期の決定
議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
 - 9日 休会
 - 10日 休会
 - 11日 休会 (議案研究)
 - 12日 休会 (議案研究)
 - 13日 休会 (議案研究)
 - 14日 決算説明
委員会付託
議案審議
質疑
討論
採決
 - 15日 議案審議
質疑
討論
採決
 - 16日 休会
 - 17日 休会
 - 18日 休会
 - 19日 決算審査特別委員会
(開会現地調査)
 - 20日 決算審査特別委員会
(一般会計総務建設環境
委員会所管分)
- 【10月】
- 1日 休会
 - 2日 一般質問
 - 3日 休会 (議案整理)
 - 4日 休会 (議案整理)
 - 5日 休会 (議案整理)
委員長報告
議案審議
質疑
討論
採決
閉会
 - 6日 質疑
 - 21日 休会 (議案整理)
 - 22日 決算審査特別委員会
(一般会計文教厚生産業委
員会所管分)
 - 23日 休会
 - 24日 休会
 - 25日 決算審査特別委員会
(特別会計水道会計討論
採決)
 - 26日 休会 (議案整理)
 - 27日 休会 (議案整理)
 - 28日 一般質問
 - 29日 一般質問
 - 30日 休会

議案審議

議案審議

議案第36号 納富分地区の下水道について



徳村 博紀議員

質問 納富分地区の下水道区域が拡大されたが、幹線工事はいつまでに完

了する予定か？また納富分地区は下水道区域に入っているので浄化槽設置の際の補助金が出ないと思うが、区域的に微妙な場所もある。補助が適用される区域があるのか？

から、バイパスまでの幹線工事については年度末の3月末までに完成予定。また補助金区域については、地区が入り組んでいるので詳細については、問い合わせがあった場合に調べてお答えしている。

答弁 西部中学校前のファミリーマートさんの前

議案第42号 鹿島市小学校・中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について



勝屋 弘貞議員

質問 今後の活用について、庁内での利用が無い時には、地元での利用も

しくは公的機関の利用という事だが、民間の利用は考えられないか。また、分校は老朽化が進んでおり改修が必要と推測されるが、その場合の費用はどうなるのか。

が、庁内・地元・各種団体の利用が無い場合には選択肢として考える。改修費については、庁内で利用する場合は予算立てを行うが、それ以外は現状渡しとなる。

答弁 現在のところ民間での活用は考えていない

議案第45号 平成29年度鹿島市一般会計補正予算について



杉原 元博議員

質問一 ラッピングバス事業について、いつから運行し、そのルートは。

夜9時の間で佐賀・武雄・嬉野・太良方面をローテーションで運行する。

険を伴う恐れがあった。

答弁 本年10月より3年間の予定で、朝6時から

議案第42号 能古見小学校浅浦分校の廃校について



角田 一美議員

質問一 浅浦分校の本校へ統合にあたり通学路の県道横断歩道(2箇所)への押しボタン式信号機設置要望の実現見通しは

どうか。

質問二 三源寺トンネルから浅浦集落内までは歩道がなく、特に四枝橋付近は狭くカーブが危険である。歩道の早期設置が急がれるが完成見通しは

議案審議

議案第45号

漁港管理費(漂着ごみ緊急対策事業)について



伊東 茂議員

質問 7月上旬の九州北部豪雨により浜・七浦・飯田漁港に1500立方メートルの大量のごみが漂着した。佐賀県と鹿島市の連携で素早い除去対

応に感謝している。その一方で筑後川からの大量の雨水が流れ込み、貧酸素水塊が懸念される。海苔養殖への影響は無いのか

答弁 水質調査は当初予算に組み込んでいる。北部豪雨の後の県調査では海域の一部に貧酸素水塊

議案第45号 道の駅鹿島実施設計業務委託料について



松田 義太議員

質問 平成31年度の干潟展望館の完成に合わせて駐車場の一部を整備する事業として、1800万円

円が計上され、今年度の事業が総額1億3495万円となる。今回の補正予算1800万円の事業内容及び干潟交流館の総事業費についてお伺いす

答弁 駐車場を含めた道の駅全体実施設計料1800万円、干潟交流館建

が確認された。漁業への影響が無いように今後も注視していく。



設分は含みません。一体型の駅として整備する方向で、県との協議中です。

この協議の中で平成32年度に予定していた実施設計委託を今年度以前倒しする事としました。干潟交流館建設の総事業費は4億1000万円です。

議会中継をご覧ください

ケーブルテレビにより本会議の様を生放送しています。また、当日の夜7時から再放送をしています。地元ケーブルテレビ(株式会社ネット鹿島)から映像を提供いただき、ユーストリーム社のインターネットストリーミングサービスを利用して、本会議のライブ配信および録画配信を行っています。

利用方法

- 「佐賀県鹿島市」のホームページより「鹿島市議会」をクリック(オレンジの矢印)する。
- この画面の「鹿島市議会」をクリックすると、下の①の画面が表示されます。
- 下の画面で「鹿島市議会」をクリックします。
- 右下の②の画面が表示されます。
- 本会議の様を観たい場合は4番目の「議会中継」をクリックします。
- 過去の議会中継を観たい場合は一番下の「過去の議会中継映像」をクリックします。



お問い合わせは 議会事務局へ TEL 0954-63-2104 ホームページアドレスgikai@city.saga-kashima.lg.jp

一般質問

鹿島市の防災について



福井 正 議員

質問一 7月5日に発生した九州北部豪雨で死者行方不明者41名、多数の家屋が流されまた倒壊する甚大な被害が発生した。現地は3カ月近く経った現在も、水道電気電話等生活インフラが無くいまだ帰宅できていない。

鹿島市の国市私有森林面積と間伐状況は。また、森林の土質は。

答弁 国1250ha、市34ha、県89ha、私3547haであり、間伐は鹿島嬉野森林組合で年87・61ha間伐されている。土質は火山性安山岩であり真砂土は無い。

示で職員が近所の方や消防団自主防災組織と協力して行う。

空き家物件リノベーションで活性化を

質問二 鹿島市の崖崩れの危険箇所は。

答弁 376箇所の危険箇所がある。人家5戸以上の危険箇所は78箇所。

質問三 避難情報を出す判断基準と情報伝達は。

答弁 前兆現象があり人的被害発生の恐れ時に発令する。

質問四 電線が切断されるなどで屋内設置型防災行政無線の機能喪失の場合の連絡は。

答弁 市の広報車や消防車、県の防災情報「あんあん」などとする。

質問五 避難訓練の現状は。

答弁 古枝で豪雨被害を想定し林業体育館に、北鹿島で西部中に避難する訓練を行った。

質問六 災害時避難困難者の避難を助けるのはどうか。

答弁 災害対策本部の指

示で職員が近所の方や消防団自主防災組織と協力して行う。

質問 佐賀市の柳町の旧家が佐賀市と民間建築家と共同で民間の知識と知恵を活用して整備された。利用者の利便性の為、文化財指定はしていない。現地で説明会を行う、事業者が事業計画書と10分間のプレゼン、家賃を入居者が決める、入居者に合わせた設計、等です。現在9店の入居者で柳町の賑わい創出ができています。

鹿島市でも取り組めると思うが市の考えは。

答弁 ビジネスサポートセンターで様々な相談に対応しているが、新規出店対応はしていない。民間との連携がキーワードだと思う。

高齢者の貧困問題について



松尾 征子 議員

質問 高齢者の貧困が社会問題になっている。鹿島市の高齢者の貧困問題をどのようにとらえているのか。何らかの対応が必要だと思うが市長の考えを。

答弁 気になるのは、人口が減っているのに、高齢者は増えているということ。2025年問題をどうするのか。いわゆるように所得の低い人が多くなっている。いざれ介護・医療が増えてその時はどうなるのか。すでに鹿島市においても介護・医療問題に直面している。生活面だけではない。政府はいろいろおっしゃっているが有効な試案はない。掛け声は社会保障と税の一体改革というが

認知症の人に障がい者手帳

質問一 認知症の人は障がい者手帳を受け取ることが出来ると思うが鹿島市は取り扱っているのか。

答弁 受けていなければ鹿島市も直ちに受け付けること。

現実はいまよくない。頭の体操がいろいろやられているが、動けばいいが相当難しい。中央と地域でどう分担するのか、中央は地方で頑張ってもいいというところ。鹿島市は地方ではもうめいっばい対応している。余力がないところは国が背負ってもらわなければならない。介護・医療だけでなく生活面においても。年金は国が責任を持つ制度。悠長な時間はない。中央に発信していかねければならないと思っ



答弁 取得することは出来る。県が行う基準に該当する場合。

質問二 答弁では、鹿島市では取り扱われていないようだ。折角の制度。市民に知らせ直ちに対応すべき。

答弁 福祉課の窓口で相談は対応していきたい。「総合窓口」になっているのでまず小さなことから相談していただければと思っ

九州北部豪雨と有明海の環境について



樋口 作二 議員

質問一 大量の淡水が流れ込んだことによる影響について

答弁 大規模な貧酸素水塊が発生して、サルボウなどの二枚貝への悪影響が考えられ、ビゼンクラゲ漁も不漁であった。

質問二 筑後川および筑後大堰の及ぼす有明海への影響について

答弁 筑後川からの流水は、有明海に注ぐ淡水の四割を占めるので栄養塩も多く、影響は大きい。また河口から大量の土砂も採掘された影響も指摘されている。筑後大堰はアンダーフローも行って

るので、有明海への影響は小さいと考えられる。

質問三 他の河川のダムや堰の影響について

答弁 ダムや堰があっても川に流れ込む量と流す量が同じなので影響はない。中木庭ダムについても中川水系の問題はないと思う。

生き物との共生ー鳥害やペット放逐について

質問一 サギ被害の実態と対策について

答弁 市内には二か所のコロニーを確認しているが、各所に小集団も点在している。対策としては爆竹等で脅す、大木を切るなどして住宅地から離す必要がある。鉄砲駆除は民家から二百メートル以内は発砲できないが、空砲の使用はできる。

質問二 鳥害とその対策について

答弁 海苔にはヒドリガモやオナガガモ、麦類にはヒドリガモやヨシガモの被害がある。その他カ



ラス、ヒヨドリ、ドバト等の被害もあるが鳥獣保護法との関係で追い払い対策が中心である。

質問三 ペットの放逐の実態と対策について

答弁 犬や猫、カメ類、魚類等が放逐され、その中には特定外来生物も含まれており、環境被害を与えている。動物愛護法では命を終えるまで飼うことが当然と考えられており、えさを与えれば捨て猫でも占有者とみなされるので注意してほしい。

『鹿島市の防災対策』について



杉原 元博 議員

質問一 新世紀センターが完成して一年。災害対策の面でどう変化(改善)したのか。

答弁 災害対策の拠点が確保され、情報の一元化が進み、より迅速な対応が可能となった。併せて屋内放送システムも整備し、きめ細やかな情報提供が可能となった。

質問二 7月初旬の九州北部豪雨と同規模の水害が発生した場合、想定される状況は。

答弁 土砂災害危険箇所は「がけ崩れ」299箇所、「土石流」76箇所、「地滑り」1箇所、合計376箇所が公表されている。

質問三 各地区毎に具体的な避難場所の指示が必要

要では。

答弁 日頃から家庭で話し合い確認する事や、自主防災組織で避難訓練実施を呼びかけていきたい。

質問四 新世紀センター完成、防災情報システム整備の反省点、今後の課題は。

答弁 大きな不具合等は生じてなく順調に運用している。全世帯を目標に整備しているが、設置に必要性を感じていない世帯もある。問い合わせ等には、その都度対応している。

「み出し支援(ふれあい訪問収集)事業

質問一 ゴミ出しが困難で支援が行き届いていない世帯が現状どれくらいあるのか調査を行って欲しい。

答弁 3年に1度『高齢者要望等実態調査』が行われ「家事全般ができて

いるか」等の質問項目がある。出来ないと回答された方が441人、その内一人暮らしの人は44人との回答であった。

質問二 いくつかの課題もあると思うが、今後『ゴミ出し支援』が必要なのは。

答弁 全国でも個人情報を取り扱いや事件・事故に巻き込まれる等の危険がある。情報を共有し、各部署と連携を行い、引き続き対応策を検討していきたい。

質問三 これからの超高齢化社会に対応可能な『ゴミ出し支援の為の戸別収集体制』を構築すべきと思うが、所轄の環境部長に伺う。

答弁 高齢化社会に向けて必要なことと認識している。鹿島市が今まで行ってきた回収方法の変更も視野に入れる必要がある。今後、関係各部署と協議を重ねていきたい。

一般質問

鹿島市の農業問題について



稲富 雅和 議員

質問一 コメ政策について、今一番の問題は、直接支払交付金10aあたり7500円がH29年度をもって廃止になる事である。市の考えとしてはどう対応していくのか。

答弁 財源がどこに行くのかが関心があり、全国で約700億円交付され



ない。収入保険制度の実施、水田活用直接支払交付金などについて考えているかも。制度上も検討していかないといけないと考えている。

鹿島市における障がい者福祉の現状と課題

質問一 特別支援教育について近隣市町の中で手うすだが、どうして対策がえられなかったのか。

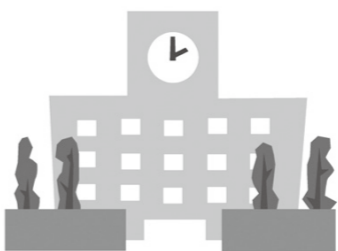
答弁 財政にもお願いしている。国の地方財政措置も増えている。その事を根拠に今後お願いしていく。

質問二 財政にお願いしないといけないけど、対応が遅い様な気がしている中で、やっぱり教育長として来年からしか出来ないのか。

答弁 来年度に向けてしっかりお願いする予定である。

幸い教育戦略会議と云うのをしてもらって、市長部局と話す機会が増えた。お願いしやすくなると思っている。

要望 鹿島市が最も手薄という感じがあります。学校現場の実態、意見を十分把握して意思疎通を図りながら適切に対応していただきたい。



樋口市政の成果と今後について



角田 一美 議員

質問一 樋口市政2期8年の成果は！

答弁 市民の皆さんのご理解と関係者のご協力です。多くの事業を実施することが出来、その結果、鹿島市の知名度がアップ。国、県、近隣市町と連携協力は充分修復ができた。

組織の活性化のための国、県との人事交流派遣により新しい風が吹き職員への刺激に。市民税30億円に到達、納付率が向上し欠損額も減少、ふるさと納税、ポータルレースチケット交付金、寄付金等税外収入の増、警察署・農林事務所の内移転、新世紀センターと屋内放送設備の完成で安全安心がハード面でかなり

の水準が向上。

保育園・小中学校施設の改築・市民交流プラザ「かたらい」の開設と子育て広場の新設、酒蔵ツーリズム登録商標、海道しるべの開設、雇用促進住宅の買収、工場団地への企業誘致。PFI事業による市営住宅・定住促進住宅建設の着手など。

質問二 実現していない施策・事業はなにか。

答弁 市民会館の建設、有明沿岸道路、国道498号線、市営住宅跡地の売却、鹿島駅前周辺開発、浜駅と祐徳門前、酒蔵どおり、道の駅の交流促進による市内産特産物の販売促進活性化など。

質問三 残されている課題はなにか？

答弁 荒廃園・後継者確保が急務。イノシシ対策の強化が課題。災害に対する備え、防災対策の強化。

朽化維持管理への対応、駅舎・駅前広場の整備等がある。



質問四 次期市長選挙への出馬意向は！

答弁 現時点で健康的に不安なところはない。首長としての条件は満たしていると思っている。

市民の皆さんの支持が得られれば更にもう1期残された課題に全精力を振り絞り、現在の職務に引き続き取り組みたい。

一般質問

鹿島市が直面している課題について



松田 義太 議員

雇用確保を目的とした企業誘致の取り組みについて

質問一 谷田工場団地への進出が決定した川島金属の状況について、操業開始までの具体的計画及び採用状況についてお伺いする。

答弁 来年6月の操業開始に向け、工場建設が予定されている。また、事務職2名、機械オペレーター20名の採用活動が行われており、現在15名の採用が決定され、今後も順次面接会を実施していく方針と聞いている。

質問二 川島金属の進出により市内の工場団地の残地はないと思うが、今後の新工場団地造成など

の取り組みをどのように考えているのかお伺いする。

答弁 新工場団地を造成するのか、又は企業の間い合わせ状況に対応する形での、オーダーメイド型にするのか検討中である。出来るだけ、早急に方向性を示したい。

質問三 佐賀県のさが創生事業として、新工場団地造成の助成制度がある。この制度を活用し、県と共同して取り組みたい。早急に進捗すると思っておりますとの協議を始めてもらいたい。

答弁 市の具体的取り組みを検討次第、県との協議も考えていきたい。

鹿島市の災害時の防災計画について

質問一 各地域において自主防災組織を推進されてきたが、現場の声として

て、自主防災組織の機能充実、人材育成など、組織の運営について不安の声が聞かれる。市はどのような取り組みを考えているのか。

答弁 防災についての講演会の実施、防災士の育成、又、災害対策マニュアル等早急に対応していきたい。

質問二 福祉避難所について、過去の答弁において、市内の介護事業者とのネットワーク作りを検討したいとあったが進捗状況をお伺いする。

答弁 施設環境等のアンケートを実施し、災害時の避難所として7事業者より協力の意向も確認している。今後も各事業者との連携を深め、災害時の対策に万全を期していきたい。

農林水産事業について



中村 一尓 議員

質問一 樋口市長が就任されて8年が経とうとしています。鹿島市の第一次産業をもっと良い方向に変えてくれると期待しています。その成果はまだみえてきませんか。

先日の議会報告では「米や麦を作っても手数料の方が高くて何も残らないし、手出しの方が多し」、「農家の所得は一向に上がらない」、「増え続けるイノシシで農業への意欲が削がれる」という市民の声がありました。

圃場整備などのハード事業は現在行われているものもありますが、この分野で樋口市長はこれまでに何を改善して農家や漁業者の所得向上につな

がるようなことをしたのかお答えください。

答弁 農家の悩みは所得が上がらない。手取りが上がらないということ。頭を悩ませている。その目処をつけるために、生産した物の売り上げを増やすことと流通経費を下げる。農家は消費者のニーズに合った、売れる物を作って頂くことが必要。あとは国や県と協力して、法人化や大規模化について検討し鹿島らしさを出して頂く。

質問二 樋口市長は耕作放棄地を解消する「放牧牛」の実験にこれまでに約1000万円（九州大学の研究費等として）使っているが成果は出ていない。

近年は800万円の研究費を使い鹿島産の大豆を使ったマヨネーズを作ったがなかなか上手くいかず、廃止された。また300万円をかけて、鹿島産の化粧品を作った

が、化粧品会社との契約があり、商品が何本売れたか結局わからない。これは全て市民の税金から使われた事業です。市民の皆さんが納めて下さった大切なお金です。それをどう使うか。こんな使い方をしているなら、本当に困っているイノシシ対策や農家の所得向上に直接つなげる政策をすべきだが、どう考えているか。

答弁 新商品や新事業等については、まだ上手くいかないものや失敗したものもある。行政はリスクのあるものに乗りに乗って課題解決をしなければならぬ。



公平、公正な行財政運営にほど遠い28年度の決算。さらに市の財政運営は無駄遣いも多い。大学に委託した数々の取り組み、どれ一つ成果が上がったものはない。引き続き職員の削減は市民サービス低下は勿論だ。職員の健康を害して長期休暇も少なくない。増員することについては退職したベテラン職員、臨時職員の採用しか考えず、根本的対策にならない。

一番問題は同和2団体に215万4719円、3名の団体に172万6313円の丸抱え補助、このような不正なことは許せない。

反対討論
松尾征子 議員

賛成討論

福井正 議員

平成28年度は、歳入155億円、歳出152億円、3億1200万円の黒字決算だった。公共建設基金を、市民体育館改修事業・小中学校施設整備事業・市道改修事業等の為取り崩したが、財政調整基金は、取り崩しが実質回避されている。財政指標も健全な数値に収まっている。歳入はふるさと納税が1億を超え、今後の財政に寄与すると思う。市税も30億を超えた。民生費は55億円と総支出の36%を占めているが、学童保育の充実等、児童福祉・住民福祉に力を注いだ結果である。農水産業で、基盤整備事業や強い農業づくり交付金事業、青年就農給付金事業等一次産業強化に取り組み、商工業としてBZ事業で414件の相談をとり商工業振興に取り組んだ。28年度は積極的投資とバランス良い決算であり、委員長報告に賛成する。



ふるさと納税の案内パンフレット。年間1億円を超える納税があり、市の財政に大きく貢献している。

決算審査特別委員会委員長報告

去る9月14日の本会議に付託されました議案第35号から議案第41号までの7議案につきまして、9月19日、20日、22日、25日の4日間にわたり特別委員会を設置開催し、慎重に審査をいたしました。

まず、19日に議案関係5ヶ所の現地調査をおこないました。

- ①北鹿島小学校プール改修工事、②市民体育館外壁補修工事、③上古枝送水ポンプ取り替え工事、④さが肥育素牛・自給飼料生産拡大施設等整備事業、⑤地域密着市道改修事業（市道音成線、水路改修工事）を担当課の説明を受け、調査しました。20日より市長、副市長、教育長、担当課職員出席のもと、決算審査特別委員会を開催し審査に入りました。

企画財政課より平成28年度の決算状況と主要施策の成果説明

- 一般会計は歳入155億2323万円、歳出152億1116万8千円、3億1206万2千円の黒字決算。
- 公共下水道事業特別会計は歳入11億7040万9千円、歳出は同額で差引額ゼロ。
- 谷田工場団地造成・分譲事業特別会計は歳入3538万5千円、歳出981万1千円で2537万4千円の黒字。
- 国民健康保険特別会計は歳入46億961万9千円、歳出48億1764万1千円で1億2802万2千円の赤字。
- 後期高齢者医療特別会計は歳入3億8293万3千円、歳出3億8207万9千円で85万4千円の黒字となっている。
- 給与管理特別会計は予算額18億5729万3千円、歳出済額も同額。（前年度より11%の増加）
- 水道事業会計は総収益5億5823万8千円、総費用4億6952万円。871万8千円の黒字。

監査委員より7議案について一括して概要説明

「審査に付託された歳入歳出決算書及び、附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数についても関係帳簿及び、証拠書類と照合の結果、適正に表示されていた。

また、予算の執行管理については、歳入の確保と歳出予算の公立的な執行に配慮しながら各種の事務事業が推進されており、各会計とも適正に処理されていた」と報告を受けました。

説明後、直ちに審査に入り、7議案に対し、委員より多項目にわたる質疑があり、質疑終了後、討論、採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定することに決せられました。

決算審査特別委員会委員長 伊東 茂

決算審査特別委員会 日程

- 9月19日 午前10時開会、主要成果説明書の概要説明、決算審査の概要報告、現地調査の事業概要説明。午後より現地調査5ヶ所。
- 9月20日 午前10時より終日。一般会計歳入歳出決算認定について質疑（総務建設環境所管分）
- 9月22日 午前10時より終日。一般会計歳入歳出決算認定について質疑（文教厚生産業所管分）
- 9月25日 午前10時より終日。特別会計5議案の一括質疑。水道事業会計の質疑。議案第36号から議案第41号の一括討論、採決。



「ラッピングバス」発車オーライ!!

干潟や酒蔵通りを車体でPR

ラムサール条約登録地の肥前鹿島干潟や酒蔵通りなど、市内の観光地の写真でラッピングされた祐徳バスの出発式が、11月1日、祐徳稲荷神社バス停広場で行われました。

式典では、祐徳バスの松尾社長、樋口市長、松尾市議会議長の3人がテープカットを行いました。

ラッピングバスは、乗客はもちろん、鹿島の観光をPRして観光客増加へつなげたいという関係者の期待も乗せています。



参加者からの質問・意見・要望等

(各会場からの意見を抜粋して紹介します)

(農林水産関係)

- 中山間地農業振興対策の荒廃、農地流動化、人の交流対策は実際の取り組みはあるのか。能古見地区は農地の条件が悪く、切り捨てられるのか。
- 集落営農に入らないと食べていけないから入っている。法人化・機械化・大型化しても国土保全是無理。頑張っても農業は黒字にならない。政策改善を市議から県や国に声を上げて行って欲しい。
- 農地の荒廃は財産が無くなる事。中間管理機構により農地確保を行っているが、高齢化によりいつまでも続かない。農家の意欲の出る施策を行って欲しい。
- 猟友会によるイノシシ捕獲には限界がある。警備会社・自衛隊への要請は出来ないか。
- 狩猟期外のイノシシ捕獲について、銃器や空気銃の規制緩和を市や議会から提言してほしい。
- イノシシ対策の補助基準を上げて欲しい。重点的な駆除地域を設定すべき。
- 海苔の色落ちは深刻である。諫干の開門が無理なら、良い水を流すように議員から訴えて欲しい。

(商工業関係)

- 祐徳神社への観光バスが上の駐車場に停車するため、参道での買い物客が少ない。改善を。
- 祐徳神社から肥前浜宿への観光客は入り口が分からない。浜新町～大村方に案内板の設置を。
- 鹿島の店には魅力が無い。買い物の場所を増やし、ネットでの買い物などシステムを変えて欲しい。
- ピオの駐車場がチケット制になり大会等で利用する際、混雑し不便。また、地下の活用を考えて。

(環境・下水道・ラムサール関係)

- ラムサール登録後、道路が狭く、アクセスが不便である。整備計画はあるのか。
- 門前地区の下水道整備は長年の課題であった。今後、街なみ整備との総合計画を示して欲しい。
- 門前、大村方は下水道計画が一時消え、合併浄化槽を推進した経緯がある。住民へ十分な説明を。



～市民と議会の意見交換会～

議会報告会(第8回)報告

今回の議会報告会は市内6箇所において開催しました。各地区が抱える問題点を6箇所それぞれ違うテーマで意見交換会を行いました。テーマに沿って地域の状況、制度のあり方、今後の課題など多岐にわたる課題を取り上げました。議会側より現状の説明を述べ、参加者の方々から質問・意見・要望等を頂きました。

日程と会場

- 8月21日(月) 【鹿島地区】 市民交流プラザ「かたらい」4階
- 8月21日(月) 【能古見地区】 能古見公民館
- 8月23日(水) 【浜地区】 浜公民館
- 8月23日(水) 【七浦地区】 七浦公民館
- 8月28日(月) 【古枝地区】 古枝公民館
- 8月28日(月) 【北鹿島地区】 北鹿島公民館

地区別テーマ

【鹿島地区】

- ①市道・生活道路整備 ②商店街の振興(後継者問題) ③鹿島市における災害対策

【能古見地区】

- ①中山間地農業振興対策 ②中木庭周辺の振興対策 ③急傾斜地対策の推進

【浜地区】

- ①農業の振興 ②海苔漁場のカモ被害対策 ③肥前浜宿まちなみ対策

【七浦地区】

- ①道路整備 ②高潮対策 ③人口減少、少子化問題

【古枝地区】

- ①有害鳥獣対策 ②祐徳門前地区公共下水道事業 ③浜川河川改修(親水公園)

【北鹿島地区】

- ①これからの農業(後継者問題) ②高齢者の独り暮らし問題 ③中村住宅整備事業



平成29年12月定例会(案)

会期 平成29年12月1日(金)～平成29年12月20日(金) 20日間

第1日	12月1日	金	午前10時	・開会 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・議案の一括上程(市長の提案理由説明)
第2日	12月2日	土		・休会
第3日	12月3日	日		・休会
第4日	12月4日	月		・休会(議案研究) 発言内容通告締切(正午)
第5日	12月5日	火		・休会(議案研究)
第6日	12月6日	水	午前10時	・議案審議、質疑、討論、採決
第7日	12月7日	木	午前10時	・議案審議、質疑、討論、採決
第8日	12月8日	金		・調整日(議案審議、質疑、討論、採決)
第9日	12月9日	土		・休会
第10日	12月10日	日		・休会
第11日	12月11日	月		・常任委員会(議案、請願)
第12日	12月12日	火		・休会(議案整理)
第13日	12月13日	水		・一般質問
第14日	12月14日	木	午前10時	・一般質問
第15日	12月15日	金		・一般質問
第16日	12月16日	土		・休会
第17日	12月17日	日	午前10時	・休会
第18日	12月18日	月	午前10時	・調整日(一般質問)
第19日	12月19日	火	午前10時	・休会(議案整理)
第20日	12月20日	水	午前10時	・委員長報告、議案審議 ・質疑、討論、採決 ・閉会

平成30年3月定例会(案)

会期 平成30年2月23日(金)～平成30年3月23日(金) 29日間

第1日	2月23日	金	午前10時	・開会 ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・議案の一括上程(市長の提案理由説明)
第2日	2月24日	土		・休会
第3日	2月25日	日		・休会
第4日	2月26日	月		・休会(議案研究) 発言内容通告締切(正午)
第5日	2月27日	火	午前10時	・議案審議、質疑、討論、採決
第6日	2月28日	水	午前10時	・議案審議、質疑、討論、採決
第7日	3月1日	木		・休会(議案整理) [高校卒業式]
第8日	3月2日	金	午前10時	・常任委員会(議案・請願)
第9日	3月3日	土		・休会
第10日	3月4日	日		・休会
第11日	3月5日	月	午後1時	・新年度予算審査特別委員会(開会・現地調査)
第12日	3月6日	火	午前10時	・新年度予算審査特別委員会
第13日	3月7日	水		・休会(議案整理)
第14日	3月8日	木	午前10時	・新年度予算審査特別委員会
第15日	3月9日	金	午後1時30分	・新年度予算審査特別委員会 [中学校卒業式]
第16日	3月10日	土		・休会
第17日	3月11日	日		・休会
第18日	3月12日	月	午前10時	・新年度予算審査特別委員会
第19日	3月13日	火	午前10時	・新年度予算審査特別委員会
第20日	3月14日	水		・休会(議案整理)
第21日	3月15日	木	午前10時	・一般質問
第22日	3月16日	金	午後1時30分	・一般質問 [小学校卒業式]
第23日	3月17日	土		・休会
第24日	3月18日	日		・休会
第25日	3月19日	月	午前10時	・一般質問
第26日	3月20日	火		・調整日(一般質問)
第27日	3月21日	祝		・休会
第28日	3月22日	木		・休会(議案整理)
第29日	3月23日	金	午前10時	・委員会審査報告、議案審議 ・質疑、討論、採決 ・閉会

鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について(全議員提案・可決決定)

鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例(昭和30年条例14号)第4条に次の3条を加える。

(議員報酬の減額)

第6条 議員が自己都合、疾病その他の事由により本会議、鹿島市議会委員会条例(昭和47年条例第13号)に規定する委員会若しくは地方自治法(昭和22年法律第67号)第100条第12項の規程による議案の審査若しくは議会の運営に関し協議若しくは調整を行うための場若しくは同法第100条第13項に規定する議員の派遣若しくは鹿島市議会会議規則(昭和47年議会規則第1号)第153条に規定する委員の派遣(以下「会議等」という。)を欠席した場合又は長期欠席の届出があった場合は、第2条の規定にかかわらず、当該議員の議員報酬を減額して支給する。

2 前項の規定により支給する議員報酬の月額、第2条に定める議員報酬の月額に、当該議員が会議等を欠席した日又は長期欠席の届出があった日のいずれか早い日から、会議等に出席した日又は復帰の届出があった日のいずれか早い日の前日までの期間(以下「欠席期間」という。)に応じて、次の表に定める支給割合を乗じて得た額とする。

欠席期間	支給割合
90日を超え180日以下であるとき	100分の80
180日を超え365日以下であるとき	100分の70
365日を超えるとき	100分の50

3 前項の規定では、欠席期間が90日を超える日の属する月の翌月(その日が月の初日であるときは、その日の属する月)から会議等に出席した日又は復帰の届出があった日のいずれか早い日の属する月(その日が月の初日であるときは、その日の属する月の前月)まで適用する。

(期末手当の減額)

第7条 基準日以前6箇月以内の期間において、議員報酬が減額支給された月があるときの期末手当の額は、当該議員の期末手当に、欠席期間に応じて、前条第2項の各号に定める支給割合を乗じて得た額とする。

(摘要除外)

第8条 議員が、次に掲げる事由により会議等を欠席した期間は、前2条の欠席期間に含まないものとする。

- (1) 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例(平成19年佐賀県市町総合事務組合条例第26号)に基づき認定された公務又は通勤による災害
- (2) 女性の議員の出産。ただし、労働基準法(昭和22年法律第49号)第65条第1項又は同条第2項前段に規定する期間の範囲内であって、かつ、議長に対し長期欠席の届出がなされている場合に限る。
- (3) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第18条第1項に規定する患者又は無症状病原体保有者
- (4) その他議長がやむを得ないと認める事由

附則

この条例は、平成29年11月1日から施行する。

議会あれこれ

(平成29年7月～10月6日)

7月

- 3日 議会だより編集委員会
- 4日 杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時会
- 10日～12日 まちづくり推進構想対策特別委員会行政視察
- 12日 議会だより編集委員会
- 18日 全員協議会
議会運営委員会
文教厚生産業委員協議会
議会だより編集委員会
- 26日 全員協議会
- 28日 道路期成会3団体の要望活動(長崎県ほか)

8月

- 1日 ICTプロジェクト行政視察
- 5日 鹿島おどり参加
- 8日 全員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 17日 佐賀県市議会議長会議員研修会
全員協議会
- 18日 知事・市町議会議長懇話会
- 21日 議会報告会
鹿島・藤津地区衛生施設組合議会8月定例会
- 22日 議会運営委員会
- 23日 議会報告会
杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会
- 24日 議会報告会
- 29日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 30日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会
文教厚生産業委員会と市内小中学校校長会との意見交換会

9月

- 6日 議会運営委員会
- 8日～10月6日 9月定例会 閉会
全員協議会
地方創生対策特別委員協議会
- 14日 9月定例会 議案審議
全員協議会
文教厚生産業委員協議会

- 15日 9月定例会 議案審議
- 19日 決算審査特別委員会(現地調査)
- 20日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 22日 決算審査特別委員会(一般会計)
佐賀県市議会議長会正副議長会
- 25日 決算審査特別委員会(特別会計・水道事業会計)
文教厚生産業委員協議会
- 28日 9月定例会 一般質問
- 29日 9月定例会 一般質問
議会運営委員会

10月

- 2日 9月定例会 一般質問
全員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 3日 佐賀県消防防災課との意見交換会
- 6日 9月定例会 閉会
全員協議会
議会報告会プロジェクト

行政視察受入状況

(平成29年7月～9月)

7月5日	兵庫県小野市議会	9名
7月13日	兵庫県相生市議会	9名
7月19日	兵庫県伊丹市議会	5名
8月23日	兵庫県宝塚市議会	1名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	7月		8月		9月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	1	3,000	1	5,000	2	8,000
会費	4	25,000	1	8,000	1	3,000	6	36,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	25,000	2	11,000	2	8,000	8	44,000

編集後記

九月八日開会、十月六日閉会と大変長い九月議会でしたので、彼岸花の朱色と稲の黄金の見事なコントラストに酔いしれるまもなく季節は過ぎてしまいました。

長くなった理由は、前年度決算審査を、決算特別委員会を開いて九月議会で討議したからです。また、八月下旬各地区で開催した議会報告会で市民の皆様から寄せられた皆さんの意見も集約して報告していただきますので充実した内容に編集できたかなと思います。

九月議会終了後、常任委員会視察研修や衆議院議員選挙が重なり、あわただしい中での編集でしたが、何とかまとめることができました。内容等にご質問がおりでしたら、遠慮なく議会事務局までご連絡ください。



【編集委員】

委員長 樋口 作二
副委員長 稲富 雅和
委員 松本 未治
顧問 角田 一美

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。